



1.白菜やキャベツなどの新鮮野菜が格安販売
2.100回記念として行われた「おくのガマガール」ショー



2

ご存じですか？ 牛久の朝市「とくとく市」

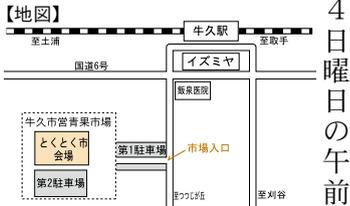
1月27日、牛久市営青果市場で「第100回とくとく市」が開催されました。

平成16年に始まり、節目の100回目を迎えた「とくとく市」。この朝市は、出店者で構成される「とくとく市組合」と、「開かれた市場」を目指す市場職員との協働により月1回のペースで開催され、新鮮な農作物はもちろん、卵やパン、惣菜、和洋菓子、花や雑貨に至るまで、バラエティ豊かな朝市となっています。

この日は、記念の感謝祭が行われることもあり、お得な商品や地元の新鮮野菜、手作りの石窯ピザなどを目当てに、多くの買い物客でごった返しました。田宮町から来場したご夫婦は「街の活性化にこのようなイベントはいいと思います。サービス券付きの格安商品は毎回買っています」と笑顔で話しました。

「とくとく市」は通常第4日曜日の午前9時から11時まで、牛久市営青果市場(田宮町624番地)で開催しています。皆さんも「とくとく市」でお買い物をし、地産地消ライフを楽しんでみませんか。

問 農業政策課 ☎内線1521



地産地消の学校給食



牛久産食材を使った給食を堪能する生徒たち

1月25日、市内小中学校13校で牛久産の食材をふんだんに取り入れた給食「牛久の日」が実施されました。

明治22年に山形県の忠愛小学校でおいぎり、焼き魚などを昼食として出したのが始まりといわれる学校給食。牛久第一中学校の2年生のクラスでは、栄養士による給食の歴史の説明後、牛久の恵みいっぱいカレー、白菜と豚の炒め物、「いもまん！」などが提供されました。

「いもまん！」は、市内の製造業者へ生産を特別に委託したもので、学校給食でしか食べることのできない幻の一品。生徒たちは「甘くておいしい」といつも以上に笑顔で給食をいただきました。

交付開始！

ご当地ナンバープレート

2月1日から、市で交付しているナンバープレート(全車種)が、国の重要文化財「シャトーカミヤ」をデザイン化したものになりました。

市では、交付開始前に希望ナンバー(希望ナンバーの当選者(写真は代理人)に池辺勝幸市長からプレートが渡されました。)

※現在登録済の従来のナンバープレートは、引き続き使用可能です。なお、新しいナンバープレートに交換することもできます。

問 税務課(資産税グループ) ☎内線1051〜1054



池辺勝幸市長(写真左)からご当地ナンバープレートが渡されました



薪ストーブで

優しいぬくもり

2月15日、教育センターきぼうの広場で薪ストーブの「火入れ式」が行われました。

今回導入された薪ストーブは、電気が使えない非常時でも部屋を暖めることができ、暖房面積は22㍍68坪。池辺勝幸市長は、「市の電気料金削減とともに平地林と耕作放棄地管理のため、薪ストーブを利用していききたい。まずは、きぼうの広場と市役所分庁舎で効果などを見定めながら、間伐材の地域での循環を確立していききたい」と話しました。



薪ストーブに火入れをする池辺勝幸市長

サイエンスフェスタ開催



物質の化学変化を楽しく実験

2月2日、市中央生涯学習センターを会場に、今年で7回目となる「うしくサイエンスフェスタ2013」が開催され、家族連れなどを中心に約1000人が来場しました。

恒例のかっぱ大交流会には、秋田県大仙市の太田南小学校が参加。児童たちが環境学習の成果を報告。市内からも4つの小中学校が代表して発表を行いました。

多目的ホールで行われた「移動プラネタリウムで冬の星座を見よう！」では、エアードームの中で、冬の代表的な星座「オリオン座」の見つけ方などを解説。その他にも全17種類の科学実験を通して、参加者は楽しく科学と触れ合うことができました。

小中学校芸術鑑賞会

1月16日、市中央生涯学習センター文化ホールで、芸術鑑賞の機会を通して心豊かな青少年の健全育成に寄与することを目的に、能楽鑑賞会が開催されました。

午前の部は市内の小学5年生759人と教師や保護者が、「野村万蔵の会」による狂言「梟山伏」と「盆山」を鑑賞。午後の部は中学2年生672人と教師や保護者が、市内在住で「金春流」の能楽師・山中一馬氏が演じる能「舟弁慶」を鑑賞しました。体験学習では、児童や生徒が、普段履き馴れない白足袋を履き、舞台上に設置された所作台の上でのすり足や、蜘蛛の糸をイメージした紙を広げる所作などを体験。伝統芸能の一つである「能楽」を、分かりやすい解説と体験学習を通して楽しみました。



1. すり足の稽古
2. 蜘蛛の糸をイメージした紙を広げる所作



家庭教育の重要性を改めて実感



謝辞を述べる原田委員長(写真左)

1月31日、牛久市家庭教育学級で「合同閉級式並びに記念講演会」が行われました。幼稚園、小学校、中学校の代表が、各学級の学習活動についてそれぞれ報告しました。また、学級生を代表者として、第二幼稚園の原田委員長が「研修を通して、家庭教育の重要性を改めて強く感じた」などの謝辞を述べました。

第2部では、クレイグ・コールマン氏のバイオリン演奏で「情熱大陸」などの曲を鑑賞。記念講演会では、つくば市教育委員の鷲田美加氏が「子育ては学びのチャンス・仕事と子育ての両立のカギ」をテーマに講演。「時間」と「コミュニケーション」を制して、仕事と子育ての両立ができるという話に、学級生は熱心に聞き入っていました。

家族のきずなを大切に

2月4日、市役所で「平成24年度我が家のきずな調印式」が行われ、5人の締結者が調印を行いました。今回は新規締結が2人、見直し締結が3人の合計5人が式典に参加。5人は、この日のために用意された地元で採れた野菜や花で作った地産地消オブリエの前で協定書に調印。

市内ではこれで62家族が調印を済ませたことになり、稲敷地域では河内町に次いで2番目の多さを誇っています。代表者あいさつで、村松昇平さんは「私の家も昔とは違い、女性を尊重することが家庭円満につながっている」と述べ、家族内での夫婦のきずなの大切さを語りました。



協定書に調印をする締結者

地方自治発展にご尽力



受賞した石野氏(写真左)と橋本氏(同右)

2月7日、茨城県市町村会館で「茨城県民間自治功労者表彰式」が行われました。この表彰式は、地方自治発展のために多大な貢献をされた方を茨城県市長会が表彰するものです。

市内では、下町行政区長の石野雅昭氏と岡見行政区長の橋本和男氏の2人が受賞。石野氏と橋本氏は、市の行政区長として行政区と市役所のパイプ役となり、地域づくりに尽力。地方自治の発展に多大なる貢献をされています。2月15日には、池辺勝幸市長から2人に表彰状などが贈られました。

寄付金のご協力 ありがとうございます

1月30日、女化文化芸術活動推進協議会から日本赤十字社茨城県支部牛久市地区(地区長 池辺勝幸市長)に3万円が寄付されました。

この寄付金は、同協議会が今年の夏祭りと収穫祭を開催した際に、気仙沼産のスープやきつねのお面などを売り上げた一部です。寄付金は、日本赤十字社に贈られ、東日本大震災の被災地支援に使われる予定です。



女化文化芸術活動推進協議会の皆さん

スポーツ少年団バレーボール スポーツチャンピオンフェスティバル大会結果

<1月20日、牛久運動公園体育館サブアリーナ>

	団体名
優勝	おくのバレーボール少年団
準優勝	ホクレア
第3位	オクレアーズ

第1回牛久市長杯スポーツ吹矢大会

<12月8日、牛久運動公園メインアリーナ、参加者91人>

	上級	中級	初級
優勝	渡井 敏雄	橋本 典子	加藤 一代
準優勝	斎藤 輝夫	吉原 英夫	大西 亮一
第3位	雨宮 憲男	美馬 功	相内 美千代

(敬称略)

おわびと訂正 「広報うしく2月1日号」17ページの「スポーツチャンピオンフェスティバル2012剣道の部結果」の記事に誤りがありました。おわびして訂正いたします。

【団体の部・準優勝】

(誤)若竹剣友会 A → (正)牛久剣友会 A

【個人の部・小学1~3年男女の部・第3位】

(誤)寺脇(1年) → (正)森脇(1年)